

# 先進地から学ぶ

## 学校統合・健康づくり・文化財保護 文教厚生常任委員会 研修報告

成20年度にグラウンド造成工事とプール建築工事で建設完了となる。児童数330人、12学級、特別支援学級1学級・統合により生徒、PTA、家族から、複式学級にならず多人数で勉強が出来る、希望する部活動が出来る、スクールバス使用で通学が安全であるなど評価が高いようであった。

### 柏崎市

人口 約9万5000人  
面積 約443km<sup>2</sup>

8月5日から7日まで新潟県新発田市・柏崎市、新潟市で小学校設備建設、健康センターの活用状況及び健康づくり施策、文化財施設の保護について研修を行った。

### 新発田市

人口 約10万4000人  
面積 約533km<sup>2</sup>

平成15年合併前の加治川村では施設の老朽化と児童数の減少から村内3小学校を1校に統合し新設の統合小学校を建設する事となり平成17年5月1日新発田市に合併、平

もこの施設で実施されている。

### 新潟市

人口 約80万4000人  
面積 約726km<sup>2</sup>

北方文化博物館は江戸中期、越後随一の大地主だった伊藤家で1市4郡64町村に1370余町歩田畑を所有し、本邸敷地8800坪、建坪1200坪、部屋数65、純日本式住居、昭和21年遺構保存のため、財団法人北方文化博物館に寄附された。国の有形文化財に登録されている。現在、建物はレストランや地酒館等に利用されている。



元気館の研修

## 合併の教訓・住み良い村・企業誘致

# 先進地から学ぶ

## 総務文教常任委員会 研修報告

総務常任委員会研修報告

日程 7月29～30日

研修先・目的 長野県

○安曇野市

(9万9000人)

合併効果と新庁舎建設

5町村が合併し大津町の3倍の面積。合併時に

本庁舎の建設が先送りされ、現在、場所選定で苦労している。合併特例債

は土地代には使えず、あと6年以内に庁舎が完成しないと特例債は使えない。合併する際は、新庁

舎建設の場所など重要な問題を後回しにしてはい

けない。また都市計画の線引き変更が未解決。

○下條村(4200人)

行財政改革、若者定住

合併しない村としてム

ダ使いを徹底してなくし、

長野県内で財政の優良自治体である。村独自の村

営住宅を124戸建設し、子どものいる世帯を優先入居させ人口も増加。保育料を2年連続値下げ、中学生まで医療費は無料となっている。

○駒ヶ根市

(3万4000人)

企業誘致、地元企業への影響、誘致企業との共存

1年間に24件の企業が

増え、合計124社、5

170人の雇用につながっている。堅実な中小企業が多く、役所一丸となつて進出企業の相談に乗っている。大津町と同じく豊富な地下水が企業進出の大きな要因であるが、東西を南、中央アル

プスに囲まれ、周囲への発展がむずかしい。大津町は地理的に360度展開できることが有利である。



合併しない住み良い村・下條村役場にて